♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

１月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！

「ジョウビタキ　ツグミ科」
冬鳥。全長 14cm。背中の白い斑点が特徴。「ヒッヒッ」とさかんに縄張り宣言の声を出す。

「セグロカモメ　カモメ科」
冬鳥。全長 61cm。雌雄同色。最も普通に見られる大型のカモメ。漁港周辺で見ることができる。

「ノスリ　タカ科」
冬鳥。全長 55cm。トビより一回り小さなタカで、脇からお腹周りにある茶色の横線が特徴。

☆「クロガネモチ　モチノキ科」☆
「苦労がなく金持ち」花の少ない冬を彩り庭木として人気。常緑だが寒さと乾燥で全ての葉を落とすこともある。

☆「ヤブツバキ　ツバキ科」☆
日本原産で園芸品種の基本種。自然塾では 1/28 にこの花びらを使用し染め体験を開催する（申込受付中）。

「オオキンカメムシ　キンカメムシ科」
体長 20-25mm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。大きめの葉の裏を覗いてみよう。

「ハマアザミ　キク科」
暖地の海岸に生える多年草。葉に鋭いトゲがある。根は食べることもでき「ハマゴボウ」とも言われる。

「ナツミカン　ミカン科」
明治時代に山口県で普及し全国に広まった。５月に花が咲き、果実は晩秋に黄色く色づき翌年の初夏に熟す。

「ツルコウジ　サクラソウ科」
暖地の林下に生える常緑小低木。全体的に柔らかい毛があり群生する。果実は直径 5-6mm。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪
駒…駒ケ崎、地…地玉の浜、自…自然観察の森で観察することができます。

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
皆さまのお越しを職員一同お待ちしております。　　　令和五年　　元旦

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2023 年 1 月前半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園
宇久井半島
冬版
＜散策時間の目安＞
○ビジターセンター～地玉の浜コース （片道約15分）
1 → 2 → 4 → 5 約700m
○ビジターセンター～駒埼灯台コース （片道約25分）
1 → 2 → 3 約900m
○ビジターセンター周回コース （一周約40分）
1 → 2 → 4 → 6 → 1 約1200m
○ビジターセンター～千尋の浜コース （片道約20分）
1 → 7 → 8 約1200m
○ビジターセンター～外の取コース （片道約20分）
1 → 7 → 9 約1200m
クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ
千尋の浜
（上地の浜）
フェリーターミナル方面
通行できません
千尋の浜方面
メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス
休暇村
南紀勝浦
外の取
至休暇村
畑
ヤブツバキ
ヤマモモ
N
W
E
S
至 R42
マルバウツギ
上野展望台
防空監視哨
トベラ
ビジターセンター
作業ヤード
ツルコウジ
アキグミ
ヤブツバキ
ヒサカキ
モチノキ
ヤマモモ
オガタマノキ
蛭子神社跡地
竹林
ヤブツバキ群生地
足元注意
セグロカモメ
ウミネコ
自然観察の森
ヤブコウジ
ヤブツバキ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）
ヒサカキ
木のすき間から
海が見えます。
ホルトノキ
シロダモ
カラスザンショウ
シロダモ
沢
周回ルート
松尾展望広場
ヒサカキ
シロダモ
赤灯台
アオノクマタケラン
ウバユリ
竹林
ツルコウジ
クスノキ
スダジイ
ハマオモト
ハマダイコン
ハマゴウ
ハマナタマメ
タイミンタチバナ
地玉（じごく）の浜
ヤブニッケイ
カンコノキ
水壺の跡
灯台まであと4分
ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ
タブノキ
モチノキ
木のすき間から浜が見えます。
モチツツジ
駒埼灯台
オオキンカメムシ
凡例
駐車場
あずまや
案内板
展望地
水道
お手洗い
自動販売機
車道
舗装路
林内の遊歩道
階段